

1 善悪や是非などをはっきりとさせること。

をつける

曖昧あいまいになっっているものやモヤモヤしていることに「決着をつける」という意味。

両極にある二つのものを「黒」と「白」の色にたとえた表現です。空欄に入るのは「黒白」もしくは「白黒」、どちらも正解。ただ「黒白」は「こくびやく」、「白黒」は「しろくろ」と読み方が異なります。

答
黒白、白黒

使い方 正しいかどうかの黒白をつける時がきた。

2 議論などで見事にやり込められること。

取られる

柔道や剣道で技がきれいに決まり「一本負け」を喫することから転じて、「見事なまでにやられる」という意味。「恐れ入った」「ぐうの音も出ない」というニュアンスです。とくに議論において、相手の言い分理があつてこちらは何も反論できない、といった場合によく使われます。

答
一本

使い方 「うまいこと言うね。こいつは一本取られたな」

3 最初の頃の純粋な気持ちに返ること。

に返る

始めたばかりの頃の純粋な気持ち、最初の頃の素直な気持ちなどを今一度思い出して事に臨むこと。あの頃の気持ちに「立ち返る」ので、「返る」を使います。

空欄は「初心」。この表現での読みは「しよしん」ですが、単独だと「初々うらうらしい」を表す「うぶ」と読ませることもあります。

答
初心

使い方 初心に返って勉強し直そう。

4 よいか悪いかを占いで判断すること。

を占う

「占う」は、様々な兆候から縁起のよし悪しや将来の成り行きを予想すること。空欄に入るのは「よいこと、さいわい＝吉」と「悪いこと、わざわい＝凶」を組み合わせた言葉、「吉凶」。「吉凶を占う」で、先々どうなるのかを「占いの手段」で予想するという意味になります。

答
吉凶

使い方 開店初日の売上げが今後の吉凶を占う指標になる。